

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)															
事業実施地区名 (都道府県名)	八溝多賀森林計画区 (茨城県)	事業実施主体	関東森林管理局 茨城森林管理署															
事業の概要・目的	<p>本計画区内の国有林は、茨城県北部に位置し、福島県の八溝山北麓を源とする久慈川、茨城県の八溝山南麓を源とする八溝川、栃木県大田原市を源とする押川等の各河川の源流部を占め、良質な水を育む水源地として重要な役割を担っている。</p> <p>国有林面積は35千haで、流域森林面積113千haの31%を占め、八溝スギなどの良質な木材を産出する人工林が82%、ブナ等を主体とした天然林が18%となっている。なお、本計画区では、伐期を迎えた分収林が多く、伐採後の更新・保育面積が多いことが特徴である。</p> <p>また、花園溪谷や袋田の滝等、豊かな森林景観にも恵まれ、自然探勝、ハイキングなど森林レクリエーション等の保健休養の場としても利用されている。</p> <p>本計画区の森林においては、水源の涵養、山地災害の防止、快適環境の形成、保健・レクリエーション利用の場、生物多様性保全、木材生産、地球温暖化の防止等、森林の持つ多面的機能の発揮への国民の期待が高まっており、かつ高度化・多様化してきている。</p> <p>このような国民の期待の高まりに応え、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮を確保していくため、本事業においては、水源涵養機能等の発揮及び生物多様性の保全を図るとともに、二酸化炭素の吸収源として地球温暖化の防止等の効果を高めるため、森林の重視すべき機能の区分に応じ、必要な植栽等の更新作業並びに保育・間伐等の森林整備を実施する。また、森林施業の効率的な実施に必要な路網整備についても併せて実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="1"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1,091 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,911 h a</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>20.0 k m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.1 k m</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td>4,532,359 千円</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	1,091 h a		保育面積	5,911 h a	路網整備	開設延長	20.0 k m		改良延長	4.1 k m	総事業費		4,532,359 千円
森林整備	更新面積	1,091 h a																
	保育面積	5,911 h a																
路網整備	開設延長	20.0 k m																
	改良延長	4.1 k m																
総事業費		4,532,359 千円																
費用対効果分析	総便益(B)	42,111,089 千円																
	総費用(C)	6,073,324 千円																
	分析結果(B/C)	6.93																
森林管理局事業評価技術検討会の意見	森林の持つ多面的機能を発揮するために、必要な森林整備、路網整備であり、必要性、効率性、有効性が認められる。																	
評価結果(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性 水源の涵養や国土保全、地球温暖化防止対策及び保健休養等の公益的機能の発揮や地域特産材(八溝スギ)を中心とした木材の安定供給が求められている地域であり、本事業により多面的機能の発揮が図られるとともに木材生産による地域振興にも寄与することから事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性 低コスト作業システムの導入等による効率的な事業実施が図られ、費用対効果分析の結果から事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性 事業計画は、地域の特性を踏まえ、必要な更新、保育等の森林整備となっており、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものとなっている。また、路網整備についても、森林整備と連携したものとなっている。加えて地域材の安定供給等を通じて山村の活性化も図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能(特に水源涵養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																	

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

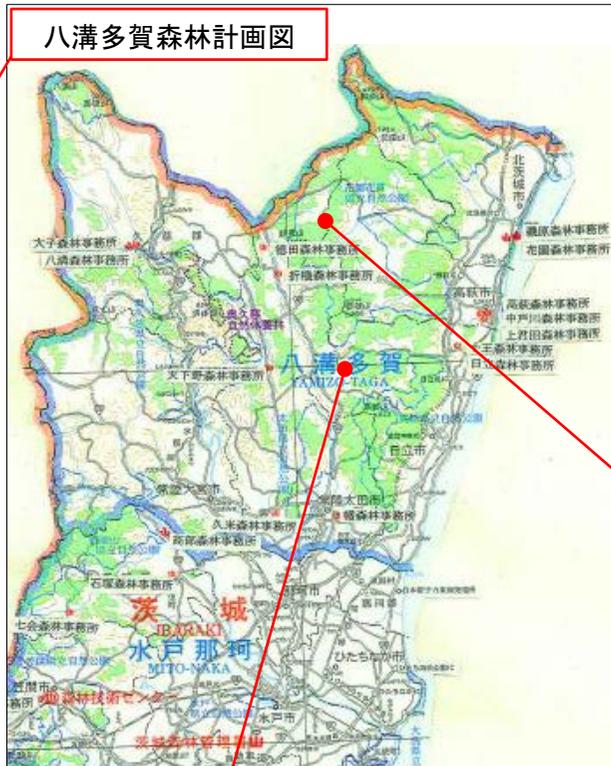
施行箇所：八溝多賀森林計画区

都道府県名：茨城

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	16,583,610	
	流域貯水便益	1,662,134	
	水質浄化便益	8,049,362	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,369,740	
環境保全便益	炭素固定便益	3,113,436	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	19,448	
	木材生産確保・増進便益	4,186,842	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	38,209	
	森林整備促進便益	1,088,308	
総便益 (B)		42,111,089	
総費用 (C)		6,073,324	
費用便益比		6.93	

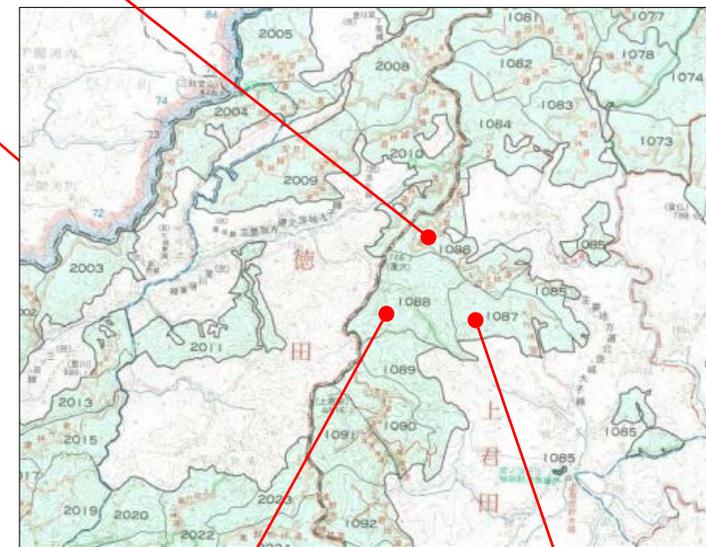
# 森林環境保全整備事業 八溝多賀森林計画図(茨城県) 事業概要図



横山国有林



森林整備状況(高性能林業機械による間伐作業)



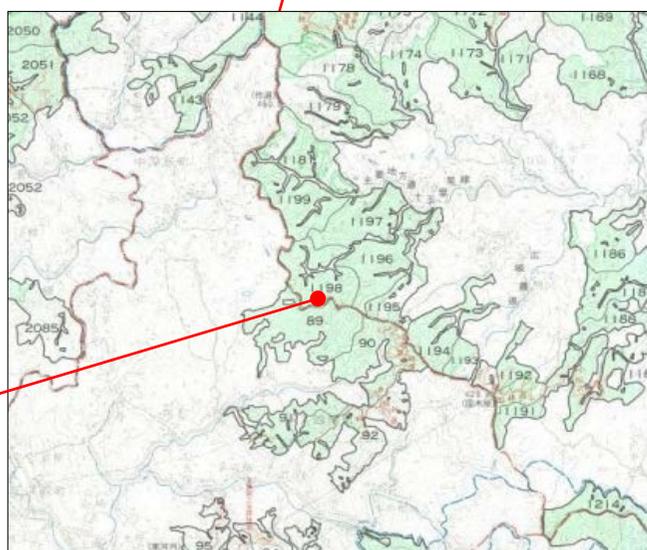
堅石国有林



(植付作業)



(下刈作業)



藤兵衛沢国有林



路網整備事業